

PYP 評価方針

使命

Mission 1

様々な人々、考え、文化に触れ、人それぞれの違いを理解し、自分を肯定し、他者への思いやりを持てる真の国際人を育成します。

We are committed to helping our students to have contact with different people, ways of thinking, and cultures; affirm their unique identities, celebrate differences, and become true international citizens.

Mission 2

四季を通した様々な行事や体験をして、探求心を持ち、自ら考え行動し、生涯にわたり学び続ける子供の育成をします。

By incorporating various events and experiences related to the four seasons, we are dedicated to helping children to develop a strong spirit of inquiry, think and act independently, and become life-long learners.

Mission 3

早期英語教育で日々の生活を丁寧に積み重ね、地球環境など幅広い視野を持つ子供の育成をします。

Through early childhood English education, we build little by little on children's daily lives and experiences and help them grow into children who are aware of the global environment and have a broad perspective.

当スクールにおける評価の捉え方

当スクールでは評価(アセスメント)を以下のように捉えています:

- スクールで行う学習を改善するための手段
- 探究プログラムを見直すための情報を集める方法
- 生徒の成長や学びを保護者に伝える方法
- 生徒の自信やモチベーションを上げるためのツール

評価の目的

当スクールでは評価の目的は子供を理解することです。評価を通して、生徒の事前知識、能力、興味を知る事ができます。評価で得る情報を基に、生徒に合う学習体験を創ります。

学習体験や生徒の進歩を記録します。この情報を使ってプログラムを改善します。毎年一度評価の結果を見て、プログラムを見直します。良い成果に繋がったところや、改善するべきところが評価で分かります。

当スクールでは保護者と信頼関係を築くことを優先事項とします。評価は生徒の成長や、学び、進歩を保護者に伝えるには役に立ちます。保護者はPYPの事を知り、UOIに積極的に参加することが可能になります。

評価は生徒の健康、精神(wellbeing)を促進するものです。生徒は自分の成長を知る事によって自信がつかます。先生、友達、自分からのフィードバックで改善するところを発見してできるが増えます。評価は学習プロセスの一部です。エージェンシーを促進する評価方法を取り入れています。

評価者

- 講師: 学習体験の結果や一日の観察を記録します。
- 保護者: 家で起こした行動(アクション)の情報を共有します。
- 生徒: 自己評価と相互評価します。

評価の観点

各ユニットの中心アイデアと重要概念の理解を評価します。国際バカロレアが掲げる学習のアプローチ、学習者像、関連概念を中心に観察や評価を行います。また、PYPの「学習範囲と順序」に基づいて、学習成果を評価します。

評価の種類

様々な方法を使って生徒の学習のモニタリング、記録、測定、報告を行います。各ユニットに形成的評価と各探究の流れの中で作った物をポートフォリオに投稿します。講師は生徒の学習や行動の観察も記録します。

評価の報告(記録)方法

- PYP進捗レポート(通知表)
生徒は、各学期の終わりにスクールから進捗レポートを受け取ります。レポートには、子どもの成長や学びに関するコメント、探究の単位(UOI)の理解、学習者像、および言語、数学、PSPE、芸術の各科目の評価が含まれます。
- 探究ポートフォリオ
生徒が探究ユニットで作った物をポートフォリオに投稿します。Seesawを使ってポートフォリオを管理します。各ユニットの探求の流れにあたって最低一つの投稿をします。先生のコメントも入れます。生徒の行動もポートフォリオで記録します。探求ポートフォリオは講師、生徒、保護者と共有し、見られるようにします。
- 学習日誌
毎日講師が学習日誌を書いて、共有します。毎週学習日誌を読み返し、ディスカッションします。学習日誌に記録した観察を使って学習と指導を改善します。
- 自己評価・仲間同士のフィードバック
ルーブリックを作成し、観察やタスクに取り入れます。
- ラーニング ストーリー (学びの物語)
講師が観察を基に学びの物語を作って、生徒の行動を記録し共有します。

方針見直し

- 評価方針は2020年10月12日にジョーダン・ロングが作成したものです。
- 2021年4月に日本語に訳し、方針見直しを行いました。
- 2021年12月に修正をしました。
- 方針見直しは毎年4月上旬に行います。

参考書目

以下の学校の方針が参考になりました:

- Kid's Tairiku Yokohama

以下の書類が参考になりました:

- PYP: From principles to practice